

第6学年1組 社会科学習指導案

平成27年 7月1日(水) 2校時
指導者 教諭 武田 直樹
場 所 6年1組教室

1 本研究授業の提案

戦国の戦いの様子について、資料から読み取ったことを伝えるための手だてとして、以下の2つについて提案する。

- (1) 発問と補助資料によって資料を読み取る視点を明確にする。
- (2) 付箋の色を利用して「見つけたこと→そこから考えたこと」に分けることで、個人で思考する手立てとするとともに、考えたことを比較しやすいようにする。

2 本研究の授業技術課題

- (1) 資料から何を読み取ればよいのか、課題が明確になる発問をする。
- (2) 屏風絵から読み取ったことを類型化して板書することで、互いの意見を関連付けて考えられるようにする。

3 本研究授業で取り入れた言語活動

付箋に書き込んだ意見をグループ内で伝え合い、お互いの考えの共通点や違いに気付くことができるようにする。

4 単元名 3人の武将と天下統一

5 単元の目標

- キリスト教の伝来、天下統一、江戸幕府の始まりと、それらにかかわる織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の働きや代表的な文化遺産を通して、戦国の世が統一されたことがわかるとともに、それらにかかわる人物の願いや働き、文化遺産の意味を考えようとする。
- 戦国の世が織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の3人の武将によって統一されたことから学習問題を見だし、3人の武将の業績の年表などから学習計画を立て、文化財、地図や年表、その他の資料を活用して調べたことをまとめるとともに、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の願いや働き、代表的な文化遺産の意味について思考・判断したことを適切に表現する。

6 指導計画(本時 1/7時間)

時	主 な 学 習 活 動
①	戦国大名の成り立ちや世の様子について教科書や資料をもとに調べる。
② 本時	戦国の世の戦いの様子を屏風絵から読み取るとともに、戦国の世への関心を高める。
③	戦国の世が統一された様子を読み取るとともに、3人の武将についての学習問題をつくり、学習計画を立てる。
④	織田信長が、天下統一を目指してどのようなことを行ったのか調べる。
⑤	豊臣秀吉が、天下統一を目指してどのようなことを行ったのか調べる。
⑥	徳川家康の全国支配までの道のりや江戸幕府の仕組み、江戸の様子を調べる。
⑦	3人の武将にメッセージを書く。

7 本時の展開

(1) ねらい

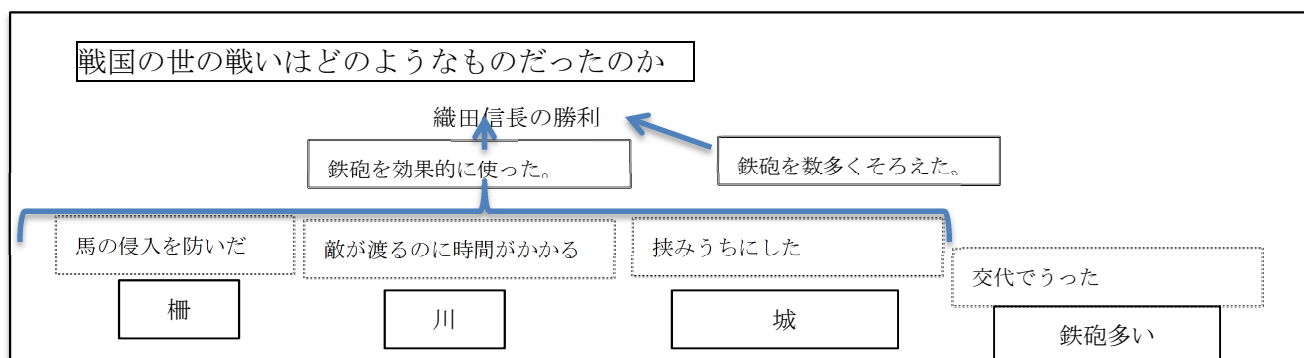
屏風絵から、戦国の世の戦い方について考え、自分の言葉で表現する。

(2) 指導過程

段階	学習活動	指導事項・留意点・評価
導入 (2分)	1 戦国時代がどのような時代であったのか、当時の勢力地図を基に確認する。 ○戦国時代について前時の確認をする。 戦国の世の戦いはどのようなものだったのか、長篠の戦いのびょうぶ絵から読み取る。	・屏風絵に描かれている戦いの意味を確認できるようにする。

展 開 (15分) (8分) (8分) (10分) 終 末 2分	2 絵を見て気付いたことを付箋に書き込む。見つけたことを黄色の付箋に、そこから考えられることを青色の付箋に書き込む。 (1) 屏風絵の構図を確認する。 発問 誰と誰が戦っている図ですか。 (2) 屏風絵から見つけたことを付箋に書き出す。 屏風絵から見付けたことやものを黄色い付箋に、そこから考えられることを青色の付箋にかきましょう。 ○予想される児童の反応 <黄>鉄砲がたくさんある 青→鉄砲は高価だからお金持ちだった。 青→数多くの鉄砲をそろえて、交代で撃った。 <黄>柵がある 青→馬が入ってこないようにした。 <黄>川 青→川を渡っている間に撃った。 <黄>反対側でも戦っている。 青→挟み撃ちにした。 <黄>馬に乗っている 青→馬で素早く攻め込んで鉄砲隊を倒した。 3 グループで発表し合う。 付箋に書いたことを発表し合ひましょう。 4 織田信長が勝利した理由について考える。 織田信長は武田軍になぜ勝つことができたのでしょうか。先ほどの付箋の中から、当てはまるものを選んでワークシートに整理してください。 5 整理したことを発表する。 ワークシートに整理したことを発表して下さい。 6 学習の振り返りをノートに書く。	・川を挟んで、西側が織田軍（正確には徳川軍を援護しているが、本指導案では織田軍とする）、東側が武田軍であることを確認する。 ・補助資料で鉄砲の難点をまとめた補助資料を提示することで、鉄砲に関する予備知識をもって資料の読み取りをできるようにする。 ・戦場では、馬から降りて戦うことが多く、騎馬で突入することはなかったという説もある。諸説がある事柄については、本時では深く言及しないようにする。 ・新たな意見や考えを書き込んでもよいことを伝える。 ・読み取らせたい事柄を読み取れていない時には、補助発問で深めていくようにする。 ・鉄砲を大量に用いたことと、鉄砲を効果的に使うために策を講じていたことの2つの視点で意見を類型化していく。 分かったことやもっと調べて見たいと思ったことを書かせる。
---	--	--

(3) 板書計画



(4) 本時の評価

具体的評価基準	資料から戦国時代の戦い方について考え、言語で表現している。(発言・付箋・ノート)
Aと判断する姿	資料や友達の発言から戦国時代の戦い方について考え、言語で表現している。(発言・付箋・ノート)
Cへの手だて	補助発問によって思考を促すようにする。

